

19 コウノトリ

(コウノトリ目)

兵庫県ランク:A

Ciconia boyciana

繁殖個体群:A 越冬個体群:B 通過個体群:調

◎国内希少野生動植物種 ◎特別天然記念物

環境省ランク:CR(絶滅危惧 I A類)

種の概要

江戸時代までは、日本全国に広く生息し各地で繁殖していた。明治以降、減少の一途をたどり、最後まで残っていた兵庫県但馬地方、福井県若狭地方でも1971年に野生下で絶滅した。しかし、現在でも秋冬期に大陸から渡来する個体が稀に見られる。その多くは春期に大陸へ戻るが、時に、周年、滞在することもある。水田や河川、湖沼、山林を含む田園環境に飛来・生息し、魚類、両生類、甲殻類などを好んで採食する。2005年から、兵庫県では大陸系統の増殖個体による野生復帰を実施し、野外個体群が成立しつつある。



写真提供:但馬野鳥の会

国内分布

北海道、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、奄美諸島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

◎放鳥個体確認市町を列記 下線表記は野生個体確認市町

神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町 ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊ら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

「今見られない」ランクからAランクに変更。
県のコウノトリ野生復帰事業により再導入された個体が、但馬地域および京都府京丹後市を中心に生息・繁殖している。また、大陸からの飛来個体も少数ながら記録されている。

保護上の留意点

再導入個体および大陸からの飛来個体の定着を図るためには、その主な生息地である田園生態系(田圃、水路、河川、草地)の保全・再生の推進が必要。